

# 上富田

## 小学生ランナー力走

### 口熊野マラソンが開幕

第21回紀州口熊野マラソン(実行委員会主催)が6日、上富田町で2キの部と3キの部から始まった。7日にはハーフマラソンとフルマラソンがあり、2日間で全国から5

797人が参加を申し込んでいる。町内はランナーや応援する人らでにぎわっている。6日は小学1〜3年の2キの部に291人、小学4〜6年生の3キの部に301人が



スタートした紀州口熊野マラソンの2キの部(6日、上富田町朝来で)

参加した。上富田文化会館前で準備運動の「上富田体操」をした後、2キの部からスタート

文化会館近くから上富田中学校や熊野高校周辺の県道や国道沿いのコースで競った。多くの保護者が応援する中、子どもらは街道を駆け抜けた。

7日はハーフマラソンが午前9時50分から、フルマラソンが10時からスタートする。ハーフ、フルともに日本陸連の公認コースになっており、自然が豊富な走りやすいコースや地域を挙げたランナーへの支援が好評を得ている。

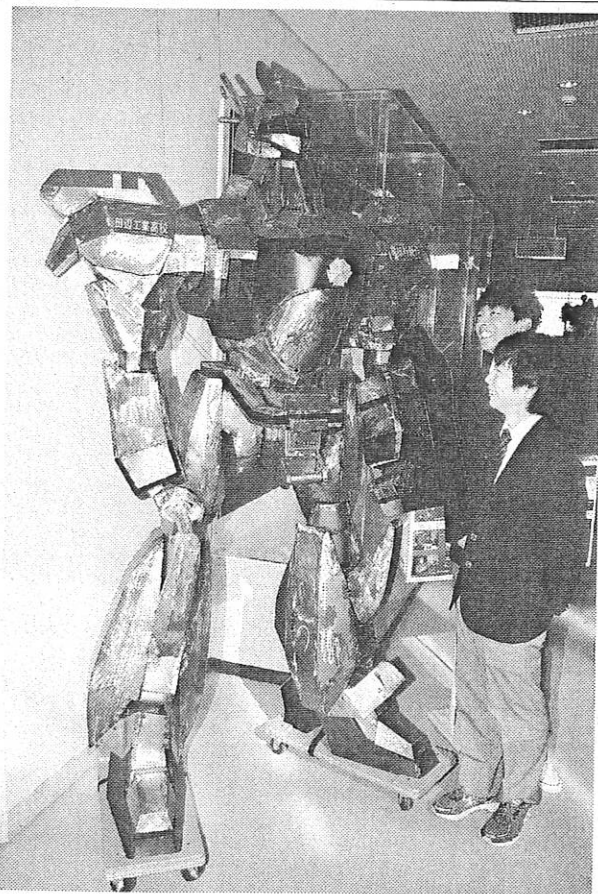
### モニュメントで応援

#### 田辺工業高

田辺工業高校(田辺市あけぼの)の生徒が作ったモニュメントが5日、上富田町朝来の上富田文化会館玄関ホールにお目見えした。14日まで展

示する。展示しているモニュメント(高さ約260センチ、幅約130センチ)は漫画などになっている「機動警察パトレイバー」

上富田文化会館での展示後、「機動警察パトレイバー」のキャラクターは、田辺署で15日から3月13日まで展示を予定している。



展示している「機動警察パトレイバー」のキャラクター(5日、上富田町朝来で)

のキャラクターで、機械科3年A組7人が同校の文化祭に向けて鉄板で制作。今回は生徒の中に上富田町在住者があり、6、7日に町を発着点に開かれる紀州口熊野マラソンを盛り上げようと展示した。

併せて、昨年度の3年生がアルミで制作した県のキャラクター「きいちゃん」も展示している。

観覧は午前9時〜午後5時。制作した上富田中学校出身の田畑彰大君(17)は「展示することができて、自分の技術をいろいろな方に知ってもらえるのがうれしい。地元の方に見に来てほしい」と話した。